

## ◎日本語教師養成プログラム

文学部日本語日本文学科日本語教育系学生は参加の必要はない。

### ■概要

国内外の日本語教育機関及び関連分野で活躍できる人材となることを目指す。指定科目のいずれにおいても、実践に結びつく知識・技能を獲得することが意図されている。国が定めた教育内容に則った11科目の履修を通じて、日本語教師としての基礎力だけでなく、グローバル社会を生きる人材として活躍するための汎用的な能力を身に付けることも期待できる。現行の法務省告示日本語学校の教員要件を満たす教育課程であると同時に、「登録日本語教員」制度を念頭にした教育課程でもある。なお、文学部日本語日本文学科日本語教育系の課程は本副専攻プログラムの内容を全て含み、より高い専門性を獲得することを目的としている。

### ■修了条件

指定科目27単位（以上）修得すること。指定科目の内、「言語学講義」「対照言語学」は選択必修科目で、どちらか一方を必ず修得すること。

### ■指定科目一覧

	開設部門	科目名	配当年次	単位数	備考
指定科目	日本語日本文学科	*日本文法	1～4	4	
		現代日本語研究Ⅰ（音声学・音声教育）	2～4	2	
		*現代日本語研究Ⅱ（授業の分析と評価）	2～4	2	
		現代日本語研究Ⅳ（社会言語学）	2～4	2	
		*現代日本語研究Ⅴ（日本語教育のための教材）	2～4	2	
		現代日本語研究Ⅵ（異文化コミュニケーション）	2～4	2	
		*現代日本語研究Ⅶ（言語と心理）	2～4	2	
		言語学講義	2～4	4	いずれか一方は必ず履修すること
		対照言語学	2～4	4	
		*日本語教育Ⅰ（日本語教育入門）	2～4	2	
		*日本語教育Ⅱ（初級の教え方）	3～4	2	
日本語教育Ⅲ（日本語教育実習）	4	3	注）履修条件あり		

注）日本語教育Ⅲ（日本語教育実習）の履修条件

- 4年次の学生
- 履修の前年度までに指定科目のうちの事前履修必須科目（\*印）全てを含む18単位以上を修得済みの者
- 教育実習費を期日までに納付した者